

伊賀市 事務事業評価シート

施設の管理・運営

事業名	825	観光施設維持管理事業	会計	01	一般会計
基本施策	44	資源とてなしの心を活かし、観光を振興する	款	07	商工費
			項	01	商工費
			目	03	観光費
担当部課名	青山支所産業建設課		細目	102	観光施設維持管理事業
作成者氏名	山内 敏	連絡先	細々目	01	観光施設維持管理事業
		52-3220			

事業の計画・内容

設置目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	①青山高原山頂小屋、②桜山公園、③尼が岳山麓公園、④兼好塚維持管理⑤青山高原ふるさと公園。維持管理業務	各施設の公衆トイレ等の維持管理を行うことで来場者へ快適な環境を提供することにより、来場者数の増加とそれに伴う地域活性化に寄与する。
本年度事業内容	①青山高原山頂小屋の維持管理、観光案内業務の実施。②桜山公園の除草、清掃、トイレの維持管理業務の実施。③尼が岳山麓公園の除草業務の実施。④兼好塚公園の除草、トイレの清掃維持管理業務の実施。⑤青山高原ふるさと公園の除草業務の実施。	
運営主体	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託等 (委託先:伊賀市シルバー人材センター、桜山管理委員会、高尾区他)	根拠法令・要綱等
		土地改良法ほか
市内の類似施設		

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	0.2	0.2	0.1
	人件費合計(A)	1,440	1,440	720
②支出内訳(千円)	事業費(B)	8,249	9,382	9,382
	委託料	7,976	8,076	8,076
	修繕料	273	10	20
	その他		1,296	1,286
合計(A+B)		9,689	10,822	10,102
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金		5,558	5,558
	受益者負担			
	その他特財			
一般財源		9,689	5,264	4,544
上記①～③に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
山頂小屋開館	日	220	220	220			
桜山公園除草	回	2	2	2			
尼が岳山麓森林公園の除草	回	2	2	2			
兼好塚公園の除草	回	2	2	2			
ふるさと公園の除草	回	2	2	2			
各トイレの清掃	回	12	12	12			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
観光入込み客数	県発表の観光客数による	人/年	557,840 目標 ()	560,000	570,000
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

①青山高原の山頂小屋は山岳地域における緊急避難所を兼ねて観光案内を毎木曜日以外の屋間に1人を常駐して行っており、同地域での唯一の拠点として重要な施設となっている。今後は産物販売等、積極的な観光振興も検討する必要がある。②桜山公園は阿保地域で唯一の所謂公園であり、地区住民の憩いの場となっている。例年催行されていた桜祭りは資金難のため本年から中止になったが、再興させる必要がある。③伊賀富士といわれる尼が岳も登山客へのサービス施設が貧弱であるが、16年度で設置したトイレ、山麓公園等のPRIに努める必要がある。④兼好塚公園は整備を行い、観光客の受け入れ態勢が整ったが知名度が低いいためか集客数の伸びには繋がっていない。今後は市内、管内で観光案内ボランティアを養成して誘客の必要がある。

評価	必要性	4	管内の各観光地(施設)は自然の地物等が多い。景観だけではリピート客の確保に繋がりにくく、交流面での強化を行う必要がある。例えば山岳地帯を縦走するトレッキング、個々のポイントにおけるオリエンテーリング、ウォーキング大会の開催等。	総合評価 A
	有効性	4		
	達成度	3		
	効率性	3		